

● 使用部品一覧

①ダイヤフラムセット

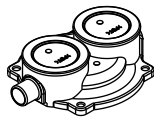
②バルブボックスセット

③フィルタ

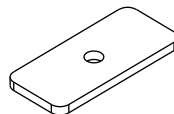
④フランジ付六角ナット



(2 枚)



(2 個)



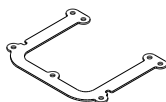
(1 枚)



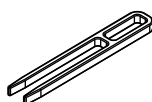
(2 個)

⑤フィルタカバーパッキン

⑥マグネットセット固定治具



(2 枚)



(1 個)

◎本ダイヤフラムセットの適用型式については外箱をご確認ください。

◎図と色や形状が違う部品もありますが、交換方法は同じです。

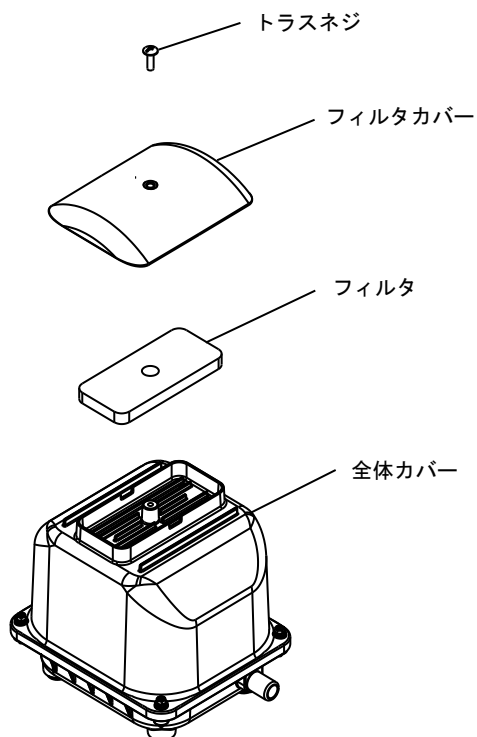
◎TIP-40E～120 型の部品を交換される場合は裏面をご確認ください。


警 告

○交換作業を実施する前に必ず電源プラグをコンセントから抜き、ブロワの運転を停止してから作業を行ってください。

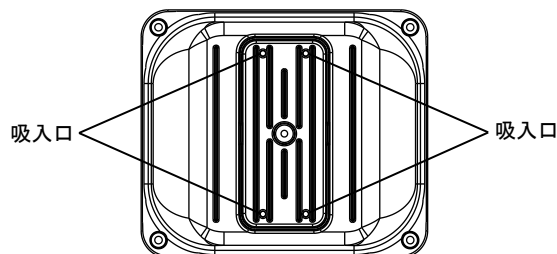
◆フィルタ及びフィルタカバーパッキンの交換

1) ブロワ上部のトラスネジを外し、フィルタカバーを取り外してください。

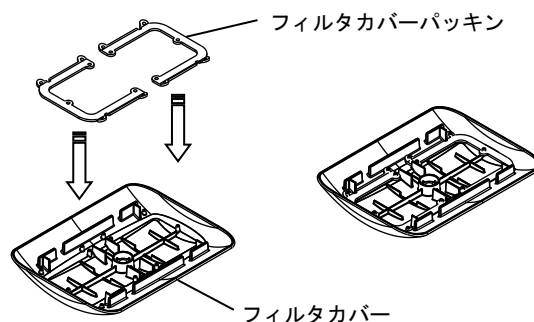


※沿岸部で使用される場合はトラスネジの固着防止のため、グリスを塗布してください。

2) フィルタを取り出し、吸入口に付着したゴミを掃除した後、新しいフィルタを取り付けてください。

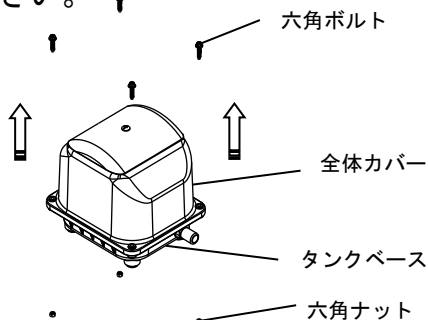


3) フィルタカバーパッキンを新しい物に交換し、フィルタカバーを元通り全体カバーに取り付けてください。



◆ダイヤフラムセット及びバルブボックスセットの交換

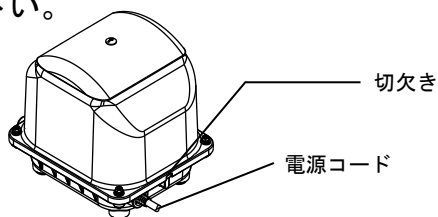
- 1) ⊕ドライバー又は呼び8のボックスドライバーで六角ボルトを外し、全体カバーを取り外してください。



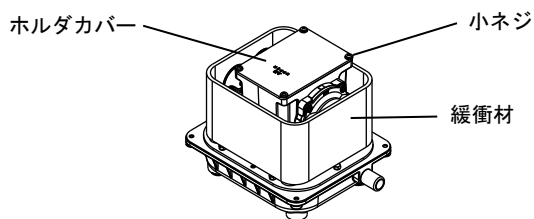
備考

六角ナットがタンクベースの裏側にあります。六角ボルトを外すとき、六角ナットを紛失しないよう注意してください。

※全体カバーが外れにくい時は、切欠き部に⊖ドライバーを差し込み、こじ開けて外してください。

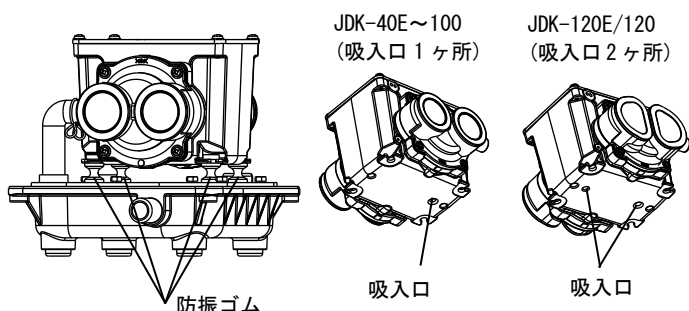


- 2) 緩衝材を外し、⊕ドライバーで小ネジを外し、ホルダカバーを取り外してください。



駆動ユニット吸気口の清掃

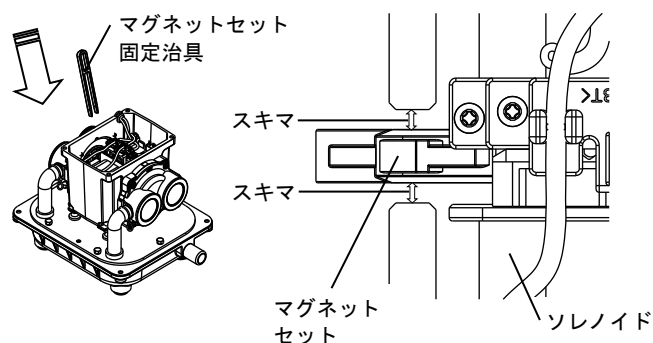
防振ゴムを外し、駆動ユニットをタンクベースセットから取り外して、吸入口にホコリやゴミが堆積していないことを確認し、堆積している場合は綿棒などを使い、取り除いてください。



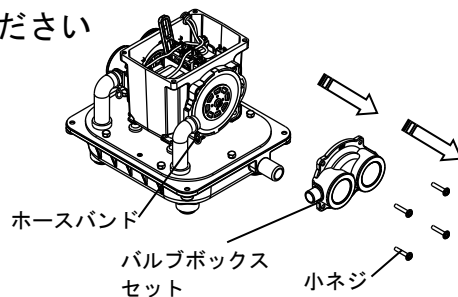
JDK-40E~100
(吸入口1ヶ所)

JDK-120E/120
(吸入口2ヶ所)

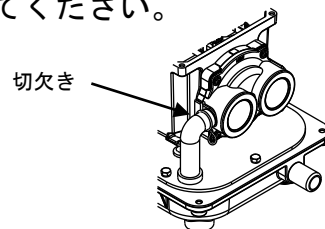
- 3) 固定治具をマグネットセットとソレノイドのスキマに入れて、マグネットセットを固定してください。



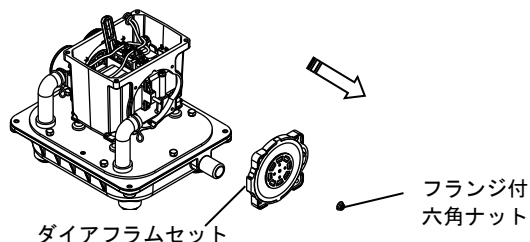
- 4) ⊕ドライバーでバルブボックスセットの小ネジを外し、ホースバンドを緩めて、接続管から片側のバルブボックスセットを取り外してください。



※バルブボックスセットが外れにくい時は、切欠き部に⊖ドライバーを差し込み、こじ開けて外してください。



- 5) 呼び7のボックスドライバーでフランジ付六角ナットを外し、片側のダイヤフラムセットをマグネットセットから取り外し、新しいダイヤフラムセットと交換してください。



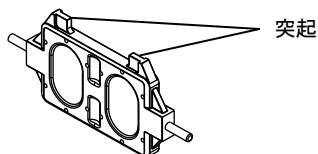
注意

○マグネットの磁力が非常に強いので、マグネットセットの取扱いには十分注意してください。

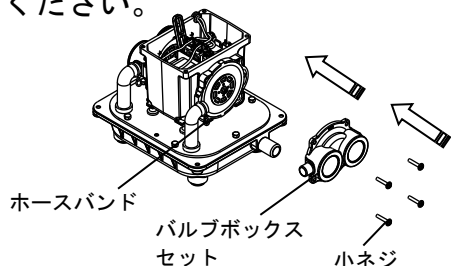
●指を挟むなどのケガをします。

マグネットセットの交換

マグネットセットを交換される場合は、両側のバルブボックスセットと片側のダイヤフラムセットを取り外し、マグネットセットを引き抜いて、新しいマグネットセットの2カ所の突起が上になるようにして交換してください。



- 6) 新しいバルブボックスセットを元通り取り付けてください。



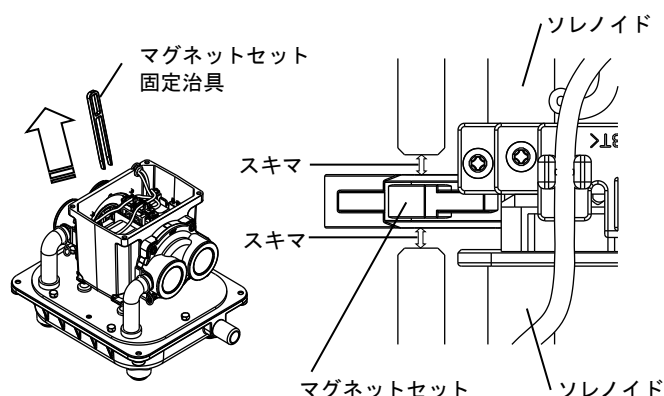
- 7) 同様に反対側のダイヤフラムセットとバルブボックスセットを新しいものに交換してください。

備考

- ダイヤフラムセット、バルブボックスセットは、必ず両側を新品に換えてください。

注意！ 古い物をそのまま使用すると早期破損の原因になります。

- 8) 交換作業が終了したら固定治具を必ず抜いてください。この時、マグネットセットとソレノイドのスキマが均等であることを確認してください。均等でない場合は、再度均等になるように組み直してください。



備考

- マグネットセットとソレノイドのスキマが均等であることを確認してください。

注意！ 均等でない状態で運転しますとダイヤフラムの寿命低下及びオートストッパーの誤動作の原因になります。

- 9) この時、オートストッパーのスライダがずれていれば、中央に合わせてください。

オートストップ機構のリセット

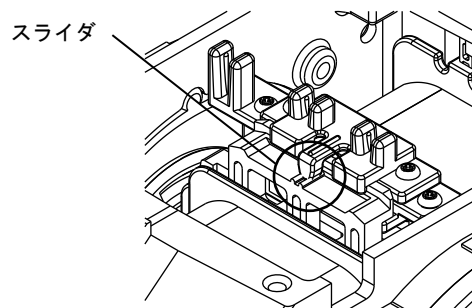
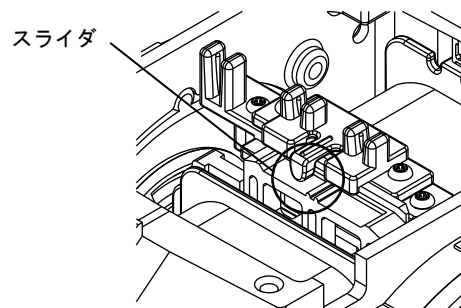
警告

○電源プラグをコンセントに差し込んだまま、又は配線した状態で、オートストップ機構のリセットは絶対に行わないでください。

●端子部に電気が流れていますので、触れると感電事故がおきます。

●オートストップ機構がリセットになると同時にマグネットセットが動きますので指を挟むなどのケガをします。

下図のようにスライダが中央からずれている時は、中央にセットしてください。

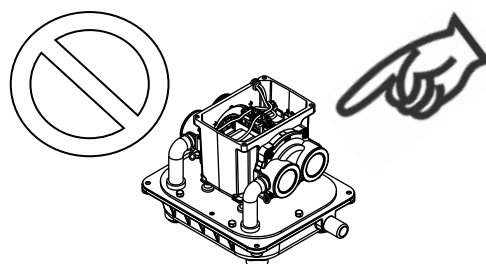


- 10) 電源を入れて、マグネットセットが中央で往復運動し、空気が正常に出ている事を確認し、電源を切ってから次の作業に進んでください。

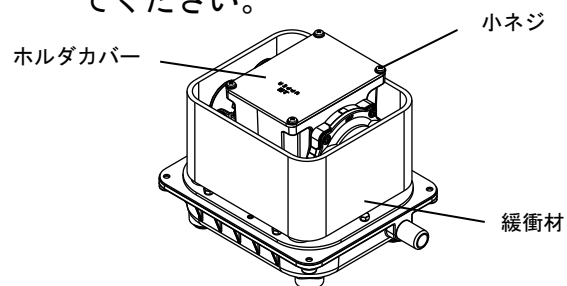
警告

○充電部が見える状態ですので、充電部には絶対触れないでください。

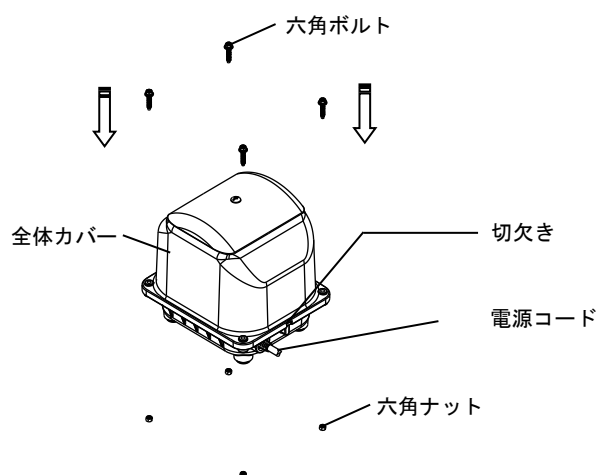
●感電事故を起こします。



- 1 1) ホルダカバーと緩衝材を元通り取り付け
てください。



- 1 2) 全体カバーの淵の切欠きがある方を電源
コード側に向けて被せ、⊕ドライバー又は
呼び8のボックスドライバーで六角ボ
ルトと六角ナットを均等に締め付けて、
全体カバーを取り付けてください。



備 考

- 全体カバーは必ず切欠きがある方を電源コ
ード側にくるようにとりつけてください。

注意！ 間違った向きで取り付けると全体
カバーとホルダカバーが接触し、
異音や故障の原因になります。